

高知県立大学

公開講座要望等調査

2014年度調査報告書

2015年04月

地域教育研究センター

生涯学習部会

目次

I. 序	001
1. はじめに	003
2. 調査概要	005
II. 公開講座要望等調査結果	007
1. 公開講座の開催回数	009
2. これまでに実施した公開講座のテーマ・内容	011
3. 県民が関心をもっている公開講座のテーマ・内容	013
4. 高知県立大学と連携・共催等をしたい公開講座のテーマ・内容	015
5. 連携・共催等をしたい公開講座にかんする高知県立大学への要望	017
6. 生涯学習にかんする高知県立大学への要望	018
III. 資料編	019
1. 調査結果一覧表	021
2. 調査依頼文書	033
3. 調査票および記載例	035

1. 序

1. はじめに

2015年04月30日
高知県立大学地域教育研究センター
センター長 清原泰治
生涯学習部会長 宇野浩三

生涯学習・教育の重要性についてはすでにさまざまに語られ明らかにされてきているところです。高知県立大学においても、高知女子大学の時代から公開講座やリカレント講座・出前講座など、生涯学習・教育にかんして多くの貢献をしてきております。

いっぽう高知女子大学は高知県立大学に改組され、2012年度には地域教育研究センターが開設されて、そのなかに生涯学習部会が設置されました。高知県立大学の基本理念として「域学共生」が確立され、そのなかに生涯学習・教育も位置づけられて、高知県立大学における生涯学習・教育の推進等の役割をになうことになりました。

そこでまず2012～2013年度は、新たな生涯学習・教育のための機会を増やすために、これまでの公開講座・リカレント講座・出前講座などに加えて、(1)県民開放授業の開設(2002年度から文化学部で実施されてきた県民開放授業の全学への拡大)、(2)履修証明プログラムの開設、をおこないました。

このような経過のなかで、高知県立大学が地域の生涯学習・教育にかんして今後よりいっそう大きな役割を果たしていくためには、(1)高知県立大学のこれまでの生涯学習・教育における実績の把握、(2)高知県立大学がもっている生涯学習・教育にかんする学習・教育資源の把握、(3)地域の生涯学習・教育にかんする現状・要請等の把握、などが必要であり、それらの実態・事実等にもとづいて、(4)今後の生涯学習・教育への寄与・貢献のあり方を整理し、具体的な企画立案をおこない、それらを実行に移していきたいと考えております。

このような考え方のもとで、2014年度にはまず(1)(2)の学内の専任教員に対しての生涯学習・教育にかんする実態・資源調査と、(3)のうちの公開講座にかんする地域の実態・意向等調査をおこないました。この調査報告書は、これらの一連の調査のうち、(3)の公開講座にかんする地域の実態・意向等調査にかんするもとづく調査報告書です。この調査結果は学内および学外に公表するとともに、この調査データにもとづいて、今後の生涯学習・教育にかんする計画立案等をおこなっていく予定です。(なお、(1)(2)の高知県立大学における生涯学習・教育の実態・資源調査結果報告書「生涯学習実績等調査2014年度調査報告書(2015年04月)」については、別途発行いたしておりますので、そちらをご参照ください)。年度末のご多忙の折にもかかわらず、これらの調査にご協力をいただきました関係者のみなさま、ご回答をいただきましたみなさまに、心から感謝申し上げます。

学外・学内のみなさまにおかれましては、この調査結果報告書をご参照いただき、地域の生涯学習・教育にかんするより効果的な実施や、高知県立大学への要請等の、参考資料としていただければ幸いです。

このような調査は、今後も継続的に実施し、その都度調査結果を公表するとともに、高知県立大学における生涯学習・教育のより効果的な実施と、地域への寄与・貢献のために役立てていきたいと考えております。今後とも、高知県立大学の生涯学習・教育の推進等にご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以上

2. 調査概要

この調査は、高知県立大学生涯学習・教育のいっかんとしておこなう公開講座にかんして、県民ニーズにもとづきつつ、より効果的な内容・実施方法等でおこなうための基礎資料とするために、高知県および高知県内のすべての市町村の教育委員会と、関連生涯学習・教育等実施機関にたいして、(1)一般市民むけの公開講座の実施状況、(2)一般市民むけの公開講座にかんするこんごの意向、などを把握することを目的として、郵送による配布・回収の方法で、2015年2～3月におこなったものです。

高知県と各市町村の教育委員会については36団体、関連生涯学習・教育等実施機関については18団体(高知市内の文化振興事業団・文化センター・ふれあいセンター・男女共同参画センターなど)、の合計54団体にたいして調査表を送付し、全体で23団体(回収率42.6%)から回答をえました。その内訳は、教育委員会16団体(回収率44.4%)、関連団体7団体(同38.9%)で、郵送配布・回収による配票調査としては比較的高い回収率でした。年度末の多忙な時期の調査にもかかわらず、この調査にご回答をいただいた関係のみなさまには、こころから感謝申しあげます。

II. 公開講座要望等調査結果

1. 公開講座の開催回数

各教育委員会・関係機関がこの2010～2014年度の5年間に開催した公開講座の回数は表－1に示すとおりです。全体では、4回以下と開催回数の少ない場合が約4割(41.5%)と比較的多いっぼう、10回以上でほぼ1か月に1回でいど以上開催している場合も4割強(44.9%)あるなど、公開講座の開催回数にかんしてはそれぞれの事情などで、2極化しているようすがみられます。

全体としての年間平均開催回数はおおむね10回でいどとなつてはいるものの、上記のように2極化しており、開催回数の少ない約4割の地域・団体の階級値による平均値は年間約2回であり、開催回数の多い約4割強の地域・団体では年間平均17～18回となつているのと比較すると、大きな差があります。公開講座開催回数からみた生涯学習・教育の機会には、大きな地域格差が生じている可能性がうかがえます。

このような開催回数の大きな差は、各市町村教育委員会相互の間(4回以下が7地域、10回以上が5地域)でも、また各関連団体相互の間(4回以下が2団体、10回以上が5団体)でも生じており、地域的な事情等による可能性が高いものと考えられます。

表－1 公開講座開催回数¹⁾(2010～2014年度)

[実数/%]

調査項目	全体	2010	2011	2012	2013	2014
00. 回答総数 ²⁾	109	22	21	22	22	22
01. 0回	9 8.3	2 9.1	2 9.5	2 9.1	2 9.1	1 4.5
02. 1～4回	36 33.2	7 31.8	8 38.1	8 36.4	7 31.8	6 27.3
03. 5～9回	16 14.7	3 13.6	2 9.5	2 9.1	3 13.6	6 27.3
04. 10～14回	19 17.4	4 18.2	4 19.0	4 18.2	4 18.2	3 13.6
05. 15～19回	5 4.6	1 4.5	1 4.8	1 4.5	1 4.5	1 4.5
06. 20回～	24 22.9	5 22.7	4 19.0	5 22.7	5 22.7	5 22.7
11. 5年間の総回数 ³⁾	1043.0	213.5	187.0	209.0	213.5	220.0
12. 5年間の平均回数 ⁴⁾	9.5	9.7	8.9	9.5	9.7	10.0
21. 0～4回の平均回数	2.0	1.9	2.0	2.0	1.9	2.1
22. 10回～の平均回数	17.5	17.5	17.0	17.5	17.5	18.1

註

1) 高知県教育委員会をのぞく。高知県教育委員会から情報提供された各市町村ごとの公開講座開催回数・内容等については、別途整理して示す。

2) 「回答総数」の「全体」は5年間分の延べ回答総数である。

3) 5年間の総回数は、各回数ランキングの階級値で計算したもの。20回以上の階級値は[22回]として計算した。

4) 階級値にもとづく平均回数である。

上記で示唆された、公開講座開催回数における地域的な格差を確認するために、高知県教育委員会から提供された、高知県内のすべての市町村(高知市をのぞく)における公開講座開催回数を表－2に示します。これによれば、開催回数が4回以下のものは市45.5%・町75.0%・村50.0%で、10回以上のものは市36.4%・町12.6%・村16.7%となっており、実回数による平均回数は市11.8回・町4.5回・村5.7回です。市での開催回数は、町の2.6倍、村の2.1倍で、開催回数の差は大きいといえます。とくに町では村よりも少ない開催回数となっています。このような公開講座の開催回数はどうぜんその地域の人口規模とも関連すると考えられ、人口規模の大きい地域では開催回数が多くなる(または、多くする必要がある)という事情は考慮すべきですが、それにしても、その開催回数からみて、町村部では多様な公開講座の開催がおこなわれにくい実態がある可能性があるということはいえるでしょう。

このような現状について、町村地域の住民や生涯学習・教育関係者がどのように考えているかなどについては、あらためて調査等をおこない、必要に応じてなんらかの改善策を講じる等の必要性がうかがわれます。

表－2 地域町村別の公開講座等開催回数¹⁾(2014年度)

	0. 総数	1. 0回	2. 1～4回	3. 5～9回	4. 10～14回	5. 15～19回	6. 20回～	平均回数 ²⁾	
								階級値	実回数
市	11	2 18.2	3 27.3	2 18.2	1 9.1	0 0.0	3 27.3	9.0	11.8
町	16	6 37.5	6 37.5	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	3.9	4.5
村	6	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	6.4	5.7

註

1) この開催回数データは、高知県教育委員会から提供された高知県内の、高知市をのぞく33市町村における、公開講座開催回数(開催予定を含む)である。開催回数は、同一講座を複数回開催しているものや連続講演会なども、開催日または会場が異なるものはすべて独立の開催回数としてカウントしている。

2) 平均回数は、参考のために、「階級値」によるものと、じっさいの回数によって計算した「実回数」によるものの、両方をしめした。

2. これまでに実施した公開講座のテーマ・内容

これまで実施された公開講座のテーマ・内容については、「01. 趣味(76%)」「07. 育児・教育問題(71%)」のほか「02. 教養(62%)」「05. 健康管理(62%)」などが8～6割ほどの機関・団体等で実施されています(表-3)。このほか、「08. IT技術(38%)」「04. 社会・時事問題(33%)」「06. 生活課題(33%)」「09. スポーツ・レクリエーション(33%)」などが4～3割ほどで実施されています。

これらについての具体的な内容などは、表-4にしめすとおりです。

表-3 これまでに実施した公開講座のテーマ・内容(2010～2014年度)

[実数/％]

(複数回答)	実施	
	実数	％
01. 趣味を深める	16	76.2
02. 教養を高める	13	61.9
03. 語学を学ぶ	2	9.5
04. 社会・時事問題を理解する	7	33.3
05. 健康管理の最新知識などを学ぶ	13	61.9
06. 生活の課題を理解する	7	33.3
07. 育児・教育問題を理解する	15	71.4
08. IT技術などについて学ぶ	8	38.1
09. スポーツ・レクリエーション活動や実技について学ぶ	7	33.3
10. 地域活動・社会活動について理解する	3	14.3
11. 職業上の知識・技能や資格取得	3	14.3
12. 農業等についての知識・技術	1	4.8
13. その他(防災：3/14.3、女性のキャリアアップ：1/4.8)	4	19.0

註

選択肢の詳細は以下のとおり。

1. 趣味を深める(音楽・絵画・書道・陶芸・料理・園芸・舞踊、など)
2. 教養を高める(文学・歴史・思想・宗教・考古学、など)
3. 語学を学ぶ(英語・韓国語・中国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語、など)
4. 社会・時事問題を理解する(社会問題・環境問題・エネルギー問題・経済問題・国際関係、など)
5. 健康管理の最新知識などを学ぶ(健康・栄養・医療、など)
6. 生活の課題を理解する(消費者問題・年金・介護・保険、など)
7. 育児・教育問題を理解する(心理・食育・人権・青少年教育・虐待・家庭内暴力、など)
8. IT技術などについて学ぶ(パソコン・インターネット・ICT、など)
9. スポーツ・レクリエーション活動や実技について学ぶ(指導法・競技技術・フィットネス・ゴルフ、など)
10. 地域活動・社会活動について理解する(地域学・地域づくり・ボランティア活動・福祉活動、など)
11. 職業上の知識・技能や資格取得(研究動向・高度技術・科学情報、簿記・色彩検定、など)
12. 農業等についての知識・技術(食品安全・農薬・実践的農業技術、など)
13. その他(具体的に：)

表－４ これまでに実施した公開講座のテーマ・内容(自由記述)

これまでに実施した公開講座のテーマ・内容

- 03) クリスマスコンサート / 和菓子教室/考古学教室。
- 05) 市民大学セミナー / 地域コミュニティリーダー研修。
- 09) 人権セミナー / パソコン教室(初心者・助成の就労支援) / ファミリー劇場/出前文化劇場 / 市民学級(書道・俳句・料理・大正琴・詩吟等) / サークル(キッズエアロ・テニス・ベリーダンス等)。
- 10) ワークショップ等による体験型講座/文化財に関する講話/東京より医師を招いての講話。
- 13) 県外の専門家・高知大の教授を招いての講座。異文化・医学・自然等。30名以内の参加者で実施。
- 15) 夏季大学講座では、毎年3名講師を迎え、南海地震や健康・福祉や人権等をテーマに毎年講座を開いている(公民館事業)。/ 公民館教養講座では、郷土出身の偉人や芸術・災害等幅広い分野をテーマに、市民を対象に年1～3回講座を開いている。
- 16) 町民大学と称して毎年秋に4～5講座を実施しています。内容は防災(地震対策)・人権・介護・生涯の体験などが主な講演内容です。/ H26は、高知県警による特殊サギについて啓発のための講演を実施しました。/ 人権と防災については、毎年テーマを設定して講演を実施しています。
- 18) ウォーキング教室 / 親子ふれあい木工教室 / ピラテス教室 / アロマ教室 / 万華鏡作り教室 / 親子パン作り教室 / パソコン教室 / 中華料理教室 / お正月の生け花教室 / クリスマスリース作り教室。
- 19) コーラス / 新聞紙でのエコバック作り / エアロビクス・健康体操。
- 20) 人権学習 / コンサート / 健康講座 / アロマ教室 / ハレディクウォーキング教室 / 旅行(見学) / ハーブ教室 / 生け花 / 料理教室(パン・中華・日本料理) / 健康体操 / パソコン教室 / 陶芸教室。
- 23) 坂本龍馬や関連した人物に関する講演。
-

3. 県民が関心をもっている公開講座のテーマ・内容

県民が関心をもっている公開講座のテーマ・内容については、「05. 健康管理(76%)」「01. 趣味(62%)」が8～6割ほどで多く、ついで「02. 教養(48%)」「09. スポーツ・レクリエーション(48%)」も5割ほどあり比較的多くなっています(表-5)。これらの県民関心の高いもののうち、じっさいの実施率が関心率を下まわっているのは「05. 健康管理(関心実施比0.81)」「09. スポーツ・レクリエーション(同0.70)」で、実施率は比較的高いものの、県民の関心の高さに較べるとまだ不十分である可能性がうかがわれます。

このほか、県民の関心度は中位～低位ではあるものの、その関心実施比が1.00未満のものには、「06. 生活課題(関心実施比0.87)」「10. 地域活動・社会活動(同0.50)」「03. 語学(0.66)」などがあります。

これらの関心実施比が1未満のもので、かつ比較的関心度も高いものなどについては、実施率を高めていく必要があるものと考えられます。

県民が関心をもっている具体的なテーマ・内容などについては、表-6にしめすとおりです。

表-5 県民が関心をもっている公開講座のテーマ・内容

[実数/％]

(複数回答)	関心		実施率	
	実数	％ (b)	％ (a)	比 a/b
01. 趣味を深める	13	61.9	76.2	1.23
02. 教養を高める	10	47.6	61.9	1.30
03. 語学を学ぶ	3	14.3	9.5	0.66
04. 社会・時事問題を理解する	6	28.6	33.3	1.16
05. 健康管理の最新知識などを学ぶ	16	76.2	61.9	0.81
06. 生活の課題を理解する	8	38.1	33.3	0.87
07. 育児・教育問題を理解する	8	38.1	71.4	1.87
08. I T技術などについて学ぶ	7	33.3	38.1	1.14
09. スポーツ・レクリエーション活動や実技について学ぶ	10	47.6	33.3	0.70
10. 地域活動・社会活動について理解する	6	28.6	14.3	0.50
11. 職業上の知識・技能や資格取得	2	9.5	14.3	1.51
12. 農業等についての知識・技術	1	4.8	4.8	1.00
13. その他	3	14.3	19.0	1.33

註

1) 選択肢の詳細は表-3 参照。

2) 「比(a/b)」は、県民の関心の度合いにたいして、じっさいに実施している比率(関心実施比)をしめすもの。

表－6 県民が関心をもっている公開講座のテーマ・内容(自由記述)

県民が関心をもっている公開講座のテーマ・内容
06) 地域に即した南海地震対策(避難や避難所での気を付けることなど)。
09) 市民学級(囲碁・ヨガ・琴・体操等) / パソコン教室(初心者・助成の就労支援) / 人権セミナー / サークル(エアロビクス・フラダンス・ラージ卓球等)。
12) 地域に根ざしたテーマを題材にした講座(佐川町の歴史等) / 育児・教育問題について(子育てと絵本との関わり等) / スポーツ・レクリエーションの組織づくりについて。
13) 関心をもっていると思われることなので、ある程度のこと以上は講師・団体に任せている。
16) 南海トラフ地震への備えや人権についてのテーマは、黒潮町民がふだんから関心をもっているテーマだと思います。
17) パソコンについては個人差が大きくて、興味はあるけど誰に聞けばいいのかわからない人が多く、安価でわかりやすく習える講座を探している。
20) 市民講座の参加年齢がほぼ70～80代(女性中心)ですので、興味のあることも同じような内容です。
21) 県民・市民の生涯学習分野の関心事は多種多様で、その内容を具体的にかぎられた紙面・時間のなかで表現することはなかなか難しい。
22) 健康・心理・食育・人権・青少年教育・パソコン・フィットネス・女性のエンパワメント。

4. 高知県立大学と連携・共催等をした公開講座のテーマ・内容

公開講座の実施にかんして高知県立大学と連携・共催等をしたと回答しているのは、テーマ・内容ごとに表-7に示すとおりです。回答している機関・団体等と高知県立大学とのじっさいの距離の遠さなども影響している可能性があります。もっとも期待度の高いものでも「05. 健康管理(43%)」の4割ほどで、一般的には連携・共催等をしたという期待度は低いようです。

「05. 健康管理」のほかには、「10. 地域活動・社会活動(29%)」「01. 趣味(24%)」「02. 教養(19%)」などが3～2割ほどの機関・団体等で期待されています。

これらのなかで、期待度そのものはそう高いとはいえないものの、現状の関心実施比がとくに低い(県民の関心度に較べて実施率がとくに低い)「10. 地域活動・社会活動(関心実施比0.50/期待関心比1.00/期待実施比2.00)」「03. 語学(同0.66/1.00/1.50)」については、高知県立大学への期待比がいずれも1.00以上となっており、各地域の機関・団体等が効果的に実施できていないものなどで、高知県立大学が担うことを期待されているものなどがあることがうかがえます。

県立大学との連携・共催などが期待されているテーマ・内容などについては、表-8に示すとおりです。

表-7 高知県立大学と連携・共催等をした公開講座のテーマ・内容

[実数/%]

(複数回答)	全体		関心率		実施率		関実
	実数	% (c)	% (b)	比 c/b	% (a)	比 c/a	比 a/b
01. 趣味を深める	5	23.8	61.9	0.38	76.2	0.31	1.23
02. 教養を高める	4	19.0	47.6	0.40	61.9	0.31	1.30
03. 語学を学ぶ	3	14.3	14.3	1.00	9.5	1.50	0.66
04. 社会・時事問題を理解する	1	4.8	28.6	0.17	33.3	0.14	1.16
05. 健康管理の最新知識などを学ぶ	9	42.9	76.2	0.56	61.9	0.69	0.81
06. 生活の課題を理解する	3	14.3	38.1	0.38	33.3	0.43	0.87
07. 育児・教育問題を理解する	3	14.3	38.1	0.38	71.4	0.20	1.87
08. IT技術などについて学ぶ	2	9.5	33.3	0.29	38.1	0.25	1.14
09. スポーツ・レクリエーション活動や実技について学ぶ	3	14.3	47.6	0.30	33.3	0.43	0.70
10. 地域活動・社会活動について理解する	6	28.6	28.6	1.00	14.3	2.00	0.50
11. 職業上の知識・技能や資格取得	2	9.5	9.5	1.00	14.3	0.66	1.51
12. 農業等についての知識・技術	1	4.8	4.8	1.00	4.8	1.00	1.00
13. その他	1	4.8	14.3	0.34	19.0	0.25	1.33

註

1) 選択肢の詳細は表-3参照。

2) 「比(c/b)」は、県民の関心の度合いにたいして、高知県立大学にその実施等を期待している比率(期待関心比)をしめすもので、「比(c/a)」は、現在実施しているものについて、高知県立大学にその実施等を期待している比率(期待実施比)をしめすものです。「比(a/b)」は、関心実施比(表-5)の再掲載です。

表－8 高知県立大学と連携・共催等をしたい公開講座のテーマ・内容(自由記述)

高知県立大学と連携・共催等をしたい公開講座のテーマ・内容

06)前におこなっていただいた体験型のセミナーは市民に好評でした。同様の企画がありましたら是非ともお願いしたいです。

07)南国市もしくは土佐に特化した内容をもりこんだ講座で、例年南国市が実施している歴史学講座・郷土学講座へ講師として派遣していただくか、大学や高専の教養講座のような、学内での研究・取組みを一般に公開するような内容の企画を学校中心でおこなっていただき、場所は南国市、広報も南国市、というように分担して取組むような講座ができればよいと思います。

10)文化的意識の向上をはかりたい。

12)スポーツクラブの組織づくりについて / 社会教育の体系化について。

13)いまのところはっきりしていないので、〇はつけられません。

17)私個人の意見ですが・・・、世代間交流はこれからの時代を考えたときに、とてもたいせつなのではないかと。 / 世代間交流・畑作事業(種まき・草取り・収穫・食事→エコ的土地への還元) / 農業を通して、命のたいせつさと感謝の気持ちを育ててほしい。

18)健康で生きつづけていくために、運動・栄養・医療についての基本的な話をお聞きしたい。 / 認知症・発達障害・障害者の人への対応について、基本的なことについてお聞きする講座があればと思います。

20)防災について。

21)上(実施している公開講座のテーマ・内容)と同じ。

22)健康・心理・食育・女性のエンパワメントなどを、県民向けには大学公開講座、学生向けには大学のカリキュラムのなかで授業の一環として、ソーレと共催で実施。

5. 連携・共催等をしたい公開講座にかんする高知県立大学への要望

連携・共催等を期待している公開講座にかんする高知県立大学への要望については、文化学部の専門領域にかんする具体的な要望のほか、公開講座についての「20)一覧表」や「21)テーマ等の例示」などがまとめられており、生涯学習部会が2014年度に実施してまとめた「高知県立大学・生涯学習実績等調査・2014年度調査報告書(2015.04.30)」などが直接役立つと考えられます。この調査報告書を活用しつつ、公開講座にかんする高知県立大学の地域貢献について、具体的な企画・立案等をおこなっていく必要があります(表-9)。

また、その開催場所などについては、表-9の要望(「07」「20」)にもでてるように、遠隔地なども含めて、現地開催などを企画していく必要もあると考えられます。

表-9 連携・共催等をしたい公開講座にかんする高知県立大学への要望(自由記述)

連携・共催等をしたい公開講座にかんする高知県立大学への要望

[講師についての要望]

07)文化学部：言語学・民俗学・地域づくり等。

20)一覧表があるとお願いしやすい。

21)インターネットにて「高知県立大学教員一覧」を開いて先生方の「研究キーワード」を拝見しましたが、この内容だけではどのようなテーマで呼びかけたら、受講希望者の触手に応ずることができるか、いまひとつわからない。高知大学教員一覧では「社会人対象におこなうことのできる講座のテーマや講演」という例示がある。そのようなPRをしていただけると、お願いする側としては選択肢が広がると考えます。

22)キャリア教育・マネジメントなどを公開講座で県民・若者対象に県立大学(またはソーレ)で。

[開催方法・場所等についての要望]

07)南国市内の公民館等において、平日・日中連続(複数回)講座、あるいは高知高専・高知大学農学部教養講座のような、先生が余裕のある時期にご自身の研究を一般人にむけて紹介するような内容で、市が広報をおこなう形式で開催できれば実施したいです。

20)地域に出向いてくれることを希望します。

22)大学との共催・カリキュラムで県立大学で開催。

6. 生涯学習にかんする高知県立大学への要望

生涯学習・教育にかんする高知県立大学への要望については、「05)産・学・官が連携した企画」「18)防災関係・社会福祉関係」「22)大学教員の専門知識の披露」「23)高知県の歴史学習」などの、内容や方法等にかかわるものがだされています(表-10)。そのほか、ここでも、高知県立大学の教員のもっている資源の広報などの工夫(「13)」)や、出前講座などの開催場所(「08)」)などにかんする要望がだされています。

これらのことに配慮した効果的な実施のための企画をおこなっていく必要があると考えられます。

表-10 生涯学習にかんする高知県立大学への要望(自由記述)

生涯学習にかんする高知県立大学への要望

05)産・学・官が連携した企画が必要であるとする。

07)非常に勝手なお願いで申し訳ありませんが・・・、生涯学習課は春秋にイベントや講座・会議(研修)等の業務が集中し、夏は夏休み子ども教室等があるため、冬期1～2月に実施できるようであればお願いしたいです。

08)公開講座の情報があれば、広報等でお知らせもし、学ぶ意欲のある町民は参加する機会ももつことができると思います。/ 出前講座のようなかたちで、わが町の町民講座や生涯学習講座の講師も引受けていただければ講座の幅も広がり、ありがたいです。

13)どんな講演・活動ができるのか、HPだけではなく、チラシもだしてはどうか。あまり見られないので。

17)講座(生涯学習)に興味のある方は、だいたいが生きることに関心がとてあつたり、社会的なのですが、それ以外の方々が外にでられるような企画などがあればいいですね。ポスター・施設への訪問などから講座への参加を誘ったりすることにも力を入れると、よりよくなりそうです。

18)防災関係・社会福祉の関係で、積極的に講義をおこなっていただきたいと思います。

21)大学の先生方が学内での講義にとどまらず、生涯学習分野にて専門知識を披露していただくことを推進していただくよう希望します。

22)若者対象に男女共同参画についての研修を実施する場合、学生の方々に積極的にソールに来館していただく仕掛け、研究資料としてソール情報資料室の活用、インターンシップなどでソールを知って体験していただく。また、ジェンダー学などを公開講座で実施することにより、県立大学の専門性を活かしていただきたい。

23)高知県の偉人・史跡・出来事など歴史学習講座。

III. 資料編

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		添付書類あり			
機関・団体名(教育委員会略)		1	2	3	4
部署		高知県	高知市	室戸市	北川村
		生涯学習課		生涯学習課	
開催した公開講座数	2014(H26)年度		10-14回	1-4回	1-4回
	2013(H25)年度		10-14回	1-4回	1-4回
	2012(H24)年度		10-14回	1-4回	1-4回
	2011(H23)年度		10-14回	1-4回	1-4回
	2010(H22)年度		10-14回	1-4回	1-4回
公開講座のテーマ	1 趣味		○	○	○
	2 教養		○	○	○
	3 語学				
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理			○	
	6 生活課題				
	7 育児・教育問題		○		○
	8 IT技術				
	9 スポーツ・レクリエーション				
	10 地域活動・社会活動				
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				
		自由記述欄			・クリスマスコンサート ・和菓子教室 ・考古学教室
県民が関心を持っている公開講座のテーマ	1 趣味		○		○
	2 教養		○		○
	3 語学				
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理		○		○
	6 生活課題		○	○	
	7 育児・教育問題				
	8 IT技術				
	9 スポーツ・レクリエーション				○
	10 地域活動・社会活動		○		
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				
		自由記述欄			

公開講座にかんする要望等調査結果

		添付書類あり			
No.		1	2	3	4
機関・団体名(教育委員会略)		高知県	高知市	室戸市	北川村
部署		生涯学習課		生涯学習課	
県立大学と 連携したい テーマ	1 趣味				○
	2 教養				○
	3 語学		○		
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理			○	○
	6 生活課題				
	7 育児・教育問題				
	8 IT技術				
	9 スポーツ・レクリエーション				○
	10 地域活動・社会活動				
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				
自由記述欄					
県立大学と の連携に 対しての要 望					
県立大学 への生涯 学習に関 する要望・ 期待					

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		5	6	7	8
機関・団体名(教育委員会略)		香南市	香美市	南国市	いの町
部署		生涯学習課	中央公民館	生涯学習課	社会教育課
開催した公開講座数	2014(H26)年度	1-4回	5-9回	20回以上	20回以上
	2013(H25)年度	1-4回	10-14回	20回以上	20回以上
	2012(H24)年度	1-4回	10-14回	20回以上	20回以上
	2011(H23)年度	1-4回	10-14回	20回以上	20回以上
	2010(H22)年度	1-4回	10-14回	20回以上	20回以上
公開講座のテーマ	1 趣味	○	○	○	○
	2 教養		○	○	
	3 語学			○	
	4 社会・時事問題	○	○	○	
	5 健康管理	○	○	○	○
	6 生活課題	○	○	○	
	7 育児・教育問題	○	○	○	○
	8 IT技術			○	○
	9 スポーツ・レクリエーション			○	○
	10 地域活動・社会活動		○	○	
	11 職業上の知識・技能			○	
	12 農業等の知識・技術			○	
	13 その他		防災		
	自由記述欄	・市民大学セミナー ・地域コミュニティリーダー研修			
県民が関心を持っている公開講座のテーマ	1 趣味	○		○	○
	2 教養			○	
	3 語学			○	
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理	○	○	○	○
	6 生活課題				
	7 育児・教育問題	○			○
	8 IT技術				○
	9 スポーツ・レクリエーション			○	○
	10 地域活動・社会活動	○		○	
	11 職業上の知識・技能			○	
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他		防災		
	自由記述欄		地域に即した南海地震対策(避難や避難所での気を付けることなど)		

公開講座にかんする要望等調査結果

No.	5	6	7	8
機関・団体名(教育委員会略)	香南市	香美市	南国市	いの町
部署	生涯学習課	中央公民館	生涯学習課	社会教育課
県立大学と連携したいテーマ	1 趣味			○
	2 教養		○	
	3 語学			
	4 社会・時事問題			
	5 健康管理	○	○	○
	6 生活課題			○
	7 育児・教育問題	○		
	8 IT技術			
	9 スポーツ・レクリエーション			
	10 地域活動・社会活動	○		○
	11 職業上の知識・技能			○
	12 農業等の知識・技術			
	13 その他			
	自由記述欄	前に行っていたいただいた体験型のセミナーは市民に好評でした。同様の企画がありましたら是非ともお願いしたいです。	南国市もしくは土佐に特化した内容を盛り込んだ講座で、例年南国市が実施している歴史学講座、郷土学講座へ講師として派遣していただくか、大学や高専の教養講座のような、学内での研究・取り組みを一般に公開するような内容の企画を学校中心で行っていただき、場所は南国市、広報も南国市というように分担して取り組むような講座ができればよいと思います。	
県立大学との連携に対する要望			○講師：文化学部、言語学、民俗学、地域づくり等 ○南国市内の公民館等において、平日・日中連続(複数回)講座、あるいは高知高専・高知大学農学部教養講座のような、先生が余裕のある時期にご自身の研究を一般人に向けて紹介するような内容で、市が広報を行う形式で開催できれば実施したいです。	
県立大学への生涯学習に関する要望・期待	産・学・官が連携した企画が必要であるとする		非常に勝手なお願いで申し訳ありませんが、生涯学習課は春秋にイベントや講座、会議(研修)等の業務が集中し、夏は夏休み子ども教室等があるため、冬期1-2月に実施できるようなのであればお願いしたいです。	・公開講座の情報があれば、広報等でお知らせ、もし、学ぶ意欲のある町民は参加する機会も持つことができると思います。 ・出前講座のような形で、わが町の町民講座や生涯学習講座の講師も引き受けていただければ講座の幅も広がり、ありがたいです。

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		9	10	11	12
機関・団体名(教育委員会略)		土佐市	日高村	日高村	佐川町
部署		生涯学習課			
開催した公開講座数	2014(H26)年度	20回以上	1-4回	0回	5-9回
	2013(H25)年度	20回以上	1-4回	0回	0回
	2012(H24)年度	20回以上	1-4回	0回	0回
	2011(H23)年度	20回以上	1-4回	0回	0回
	2010(H22)年度	20回以上	1-4回	0回	0回
公開講座のテーマ	1 趣味	○	○		
	2 教養		○		
	3 語学				
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理		○		○
	6 生活課題				
	7 育児・教育問題	○			○
	8 IT技術	○			
	9 スポーツ・レクリエーション	○			○
	10 地域活動・社会活動				
	11 職業上の知識・技能				○
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				防災関係
	自由記述欄	・人権セミナー ・パソコン教室 (初心者・助成の就労支援) ・ファミリー劇場 ・出前文化劇場 ・市民学級(書道・俳句・料理・大正琴・詩吟等) ・サークル(キッズエアロ・テニス・ベリーダンス等)	・ワークショップ等による体験型講座 ・文化財に関する講話 ・東京より医師を招いての講話		
県民が関心を持っている公開講座のテーマ	1 趣味	○	○		
	2 教養				○
	3 語学				
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理		○		
	6 生活課題				
	7 育児・教育問題	○			○
	8 IT技術	○			
	9 スポーツ・レクリエーション	○			○
	10 地域活動・社会活動				
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				
	自由記述欄	・市民学級(囲碁・ヨガ・琴・体操等) ・パソコン教室(初心者・助成の就労支援) ・人権セミナー ・サークル(エアロビクス・フラダンス・ラージ卓球等)			・地域に根ざしたテーマを題材にした講座(佐川町の歴史等) ・育児・教育問題について(子育てと絵本との関わり等) ・スポーツ・レクリエーションの組織づくりについて

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		9	10	11	12
機関・団体名(教育委員会略)		土佐市	日高村	日高村	佐川町
部署		生涯学習課			
県立大学と連携したいテーマ	1 趣味		○		
	2 教養				
	3 語学				
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理				
	6 生活課題				
	7 育児・教育問題				
	8 IT技術				
	9 スポーツ・レクリエーション				○
	10 地域活動・社会活動				○
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				
	自由記述欄		・文化的意識の向上を図りたい		・スポーツクラブの組織づくりについて ・社会教育の体系化について
県立大学との連携に対する要望					
県立大学への生涯学習に関する要望・期待					

公開講座にかんする要望等調査結果

No.	13	14	15	16	
機関・団体名(教育委員会略)	橋原町	四万十市	土佐清水市	黒潮町	
部署	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課		
開催した公開講座数	2014(H26)年度	5-9回	1-4回	5-9回	5-9回
	2013(H25)年度	5-9回	1-4回	5-9回	5-9回
	2012(H24)年度	5-9回	1-4回	1-4回	5-9回
	2011(H23)年度	5-9回	1-4回	1-4回	5-9回
	2010(H22)年度	5-9回	1-4回	5-9回	5-9回
公開講座のテーマ	1 趣味				○
	2 教養	○	○	○	
	3 語学				
	4 社会・時事問題		○	○	○
	5 健康管理		○		
	6 生活課題				○
	7 育児・教育問題	○	○	○	○
	8 IT技術				
	9 スポーツ・レクリエーション				
	10 地域活動・社会活動				
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				防災について学ぶ
自由記述欄	・県外の専門家、高知大の教授を招いての講座(異文化、医学、自然等30名以内の参加者で実施)		・夏季大学講座では、毎年3名講師を迎え、南海地震や健康、福祉や人権等をテーマに毎年講座を開いている(公民館事業) ・公民館教養講座では、郷土出身の偉人や芸術・災害等幅広い分野をテーマに、市民を対象に年1-3回講座を開いている	町民大学と称して毎年秋に4-5講座を実施している。内容は防災(地震対策)、人権、介護、生涯の体験などが主な講演内容である。H26は、高知県警による特殊サギについて啓発のための講演を実施した。人権と防災については、毎年テーマを設定して講演を実施している。	
県民が関心を持っている公開講座のテーマ	1 趣味	○	○		○
	2 教養	○	○	○	
	3 語学				
	4 社会・時事問題		○	○	○
	5 健康管理	○	○	○	
	6 生活課題		○		○
	7 育児・教育問題	○	○		
	8 IT技術				
	9 スポーツ・レクリエーション	○			
	10 地域活動・社会活動		○	○	
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				南海トラフ地震への備え
自由記述欄	関心を持っていると思われることなので、ある程度のこと以上は、講師・団体に任せている			南海トラフ地震への備えや人権についてのテーマは、黒潮町民が普段から関心を持っているテーマだと思います。	

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		13	14	15	16
機関・団体名(教育委員会略)		橋原町	四万十市	土佐清水市	黒潮町
部署		生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	
県立大学と 連携したい テーマ	1	趣味			
	2	教養			
	3	語学			
	4	社会・時事問題			
	5	健康管理			
	6	生活課題			
	7	育児・教育問題			
	8	IT技術			
	9	スポーツ・レクリエーション			
	10	地域活動・社会活動			
	11	職業上の知識・技能			
	12	農業等の知識・技術			
	13	その他			
	自由記述欄	今のところはっきりして いないので、○はつけられ ません。			
県立大学と の連携に 対しての要 望					
県立大学 への生涯 学習に関 する要望・ 期待		どんな講演、活動がで きるのか、HPだけではなく、 チラシも出してはどうか。あ まり見られないので。			

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		17	18	19	20
機関・団体名(教育委員会略)		旭地区社会福祉協議会	鴨田ふれあいセンター	高知一宮ふれあいセンター	三里ふれあいセンター
部署					生涯学習課
開催した公開講座数	2014(H26)年度	20回以上	5-9回	1-4回	15-19回
	2013(H25)年度	20回以上	10-14回	1-4回	15-19回
	2012(H24)年度	20回以上	10-14回	1-4回	15-19回
	2011(H23)年度	20回以上	10-14回	1-4回	15-19回
	2010(H22)年度	20回以上	10-14回	1-4回	15-19回
公開講座のテーマ	1 趣味	○	○	○	○
	2 教養	○			○
	3 語学	○			
	4 社会・時事問題				
	5 健康管理	○	○		○
	6 生活課題				○
	7 育児・教育問題				○
	8 IT技術		○	○	○
	9 スポーツ・レクリエーション	○	○		○
	10 地域活動・社会活動	○			
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				
	自由記述欄		<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング教室 ・親子ふれあい木工教室 ・ピラテス教室 ・アロマ教室 ・万華鏡作り教室 ・親子パン作り教室 ・パソコン教室 ・中華料理教室 ・お正月の生け花教室 ・クリスマスリース作り教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーラス ・新聞紙でのエコバック作り ・エアロビクス・健康体操 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習 ・コンサート ・健康講座 ・アロマ教室 ・ハレディクウォーキング教室 ・旅行(見学) ・ハーブ教室 ・生け花 ・料理教室(パン・中華・日本料理) ・健康体操 ・パソコン教室 ・陶芸教室
県民が関心を持っている公開講座のテーマ	1 趣味	○			○
	2 教養	○			○
	3 語学	○			
	4 社会・時事問題	○			
	5 健康管理	○	○		○
	6 生活課題	○			○
	7 育児・教育問題				
	8 IT技術	○	○		○
	9 スポーツ・レクリエーション	○	○		
	10 地域活動・社会活動				
	11 職業上の知識・技能				
	12 農業等の知識・技術				
	13 その他				
	自由記述欄	パソコンについては、個人差が大きくて、興味はあるけど、誰に聞けばいいのか、わからない人が多く、安価でわかりやすく習える講座を探している			市民講座の参加年齢がほぼ70-80代(女性中心)ですので、興味のあることも同じような内容です

公開講座にかんする要望等調査結果

No.	17	18	19	20
機関・団体名(教育委員会略)	旭地区社会福祉協議会	鴨田ふれあいセンター	高知一宮ふれあいセンター	三里ふれあいセンター
部署				生涯学習課
県立大学と連携したいテーマ	1 趣味			○
	2 教養			○
	3 語学			○
	4 社会・時事問題			
	5 健康管理		○	○
	6 生活課題		○	
	7 育児・教育問題			
	8 IT技術	○		
	9 スポーツ・レクリエーション			
	10 地域活動・社会活動		○	○
	11 職業上の知識・技能			
	12 農業等の知識・技術			
	13 その他			
自由記述欄	<p>私個人の意見ですが、世代間交流はこれからの時代を考えた時にとても大切なのではないかと。世代間交流、畑作事業(種まき、草取り、収穫、食事→エコ的土地への還元)農業を通しての命の大切と感謝の気持ちを育てて欲しい。</p>	<p>・健康で生きていくためには、運動・栄養・医療についての基本的な話をお聞きしたい ・認知症、発達障害、障害者の人への対応について基本的なことについてお聞きする講座があればと思います</p>		防災について
県立大学との連携に対する要望				<p>○講師：一覧表があると お願しやすい ○地域に出向いてくれる ことを希望します</p>
県立大学への生涯学習に関する要望・期待	<p>講座(生涯学習)に興味のある方は、大体が生きることに関心がとてもあったり、社交的なのですが、それ以外の方々を外に出られるような企画などがあればいいですね。ポスター、施設への訪問などから講座への参加を誘ったりすることにも力を入れるとよりよくなりそうです。</p>	<p>防災関係、社会福祉の関係で積極的に講義を行っていただきたいと思います。</p>		

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		21	22	23
機関・団体名(教育委員会略)		江の口コミュニティセンター	ソーレ	龍馬の生まれたまち記念館
部署				
開催した公開講座数	2014(H26)年度	10-14回	20回以上	10-14回
	2013(H25)年度	10-14回	20回以上	1-4回
	2012(H24)年度	10-14回	20回以上	1-4回
	2011(H23)年度	10-14回		1-4回
	2010(H22)年度	10-14回	20回以上	1-4回
公開講座のテーマ	1 趣味	○	○	
	2 教養	○		○
	3 語学			
	4 社会・時事問題	○		
	5 健康管理	○	○	
	6 生活課題	○	○	
	7 育児・教育問題	○	○	
	8 IT技術	○	○	
	9 スポーツ・レクリエーション			
	10 地域活動・社会活動			
	11 職業上の知識・技能		○	
	12 農業等の知識・技術			
	13 その他		女性のキャリアアップ	
	自由記述欄			坂本龍馬や関連した人物に関する講演
県民が関心を持っている公開講座のテーマ	1 趣味	○		
	2 教養	○		○
	3 語学	○		
	4 社会・時事問題	○		○
	5 健康管理	○	○	○
	6 生活課題	○	○	
	7 育児・教育問題	○	○	
	8 IT技術	○	○	
	9 スポーツ・レクリエーション	○	○	
	10 地域活動・社会活動	○		
	11 職業上の知識・技能	○		
	12 農業等の知識・技術	○		
	13 その他		女性のエンパワメント	
	自由記述欄	県民・市民の生涯学習分野の関心事は多種多様で、その内容を具体的に限られた紙面、時間の中で表現することはなかなか難しい	健康・心理・食育・人権・青少年教育・パソコン・フィットネス・女性のエンパワメント	

公開講座にかんする要望等調査結果

No.		21	22	23
機関・団体名(教育委員会略)		江の口コミュニティセンター	ソーレ	龍馬の生まれたまち記念館
部署				
県立大学と連携したいテーマ	1 趣味	○		
	2 教養	○		
	3 語学	○		
	4 社会・時事問題	○		
	5 健康管理	○	○	
	6 生活課題	○		
	7 育児・教育問題	○	○	
	8 IT技術	○		
	9 スポーツ・レクリエーション	○		
	10 地域活動・社会活動	○		
	11 職業上の知識・技能	○		
	12 農業等の知識・技術	○		
	13 その他			女性のエンパワメント
	自由記述欄	上と同じ	健康・心理・食育・女性のエンパワメントなどを県民向けには大学公開講座、学生向けには大学のカリキュラムの中で授業の一環としてソーレと共催で実施	
県立大学との連携に対する要望		講師:インターネットにて「高知県立大学教員一覧」を開いて先生方の「研究キーワード」を拝見しましたが、この内容だけではどのようなテーマで呼びかけたら、受講希望者の触手に応ずることができるか今一つわからない。高知大学教員一覧では「社会人対象に行うことのできる講座のテーマや講演」という例示がある。そのようなPRをしていただけると、お願いする側としては選択肢が広がると考えます。	○講師:キャリア教育・マネジメントなどを公開講座で県民、若者対象に県立大学(またはソーレ)で ○大学との共催、カリキュラムで県立大学で開催	
県立大学への生涯学習に関する要望・期待		大学の先生方が学内での講義にとどまらず、生涯学習分野にて専門知識を披露していただくことを推進していただくよう希望します	若者対象に男女共同参画についての研修を実施する場合、学生の方々に積極的にソーレに来館していただく仕掛け、研究資料としてソーレ情報資料室の活用、インターンシップなどでソーレを知って体験していただく。 また、ジェンダー学などを公開講座で実施することにより県立大学の専門性を活かしていただきたい。	高知県の偉人・史跡・出来事など歴史学習講座

2015年2月2日

調査責任者：

高知県立大学
地域教育研究センター
センター長 荻沼一男
生涯学習部会長 宇野浩三

この調査にたいするお問合せ先：

〒780-8515 高知市永国寺町5-15
TEL 088-873-2152(内線232)
FAX 088-873-3934
Email aeru@cc.u-kochi.ac.jp
担当者 河野淑子

「高知県各地域の地域課題の現況等に関する調査」への
ご協力をお願い

謹啓

時下、益々ご清祥のことと、お慶び申し上げます。

高知県立大学(旧高知女子大学)では、2012年度から新たに設置された**高知県立大学地域教育研究センター**内の**生涯学習部会**が窓口となって、地域の生涯学習の発展のために、県民開放授業、履修証明プログラム、高等学校等への出前講座、リカレント講座、公開講座、などのさまざまな事業をおこなっております。

このたび、これらの事業のうちとくに公開講座にかんして、県民のみなさまの興味・関心にこらえられるような内容で実施したいと考え、同封調査票のとおり、公開講座にかんする実態・要望等の調査をすることになりました。

つきましては、おいそがしい時期にたいへん恐縮ではありますが、調査票にご回答のうえ、同封の**返信用封筒**にて**2015年2月27日(金)**までに**ご投函**いただけますよう、お願い申し上げます。ご記入いただきたい内容などについては、調査票のはじめに記載しております。

みなさまのいっそうのご発展を祈念いたしております。

敬白

公開講座にかんする要望等調査

2015年2月

高知県立大学(旧高知女子大学)では、2012年度から新たに設置された高知県立大学地域教育研究センター内の生涯学習部会が窓口となって、地域の生涯学習の発展のために、県民開放授業、履修証明プログラム、高等学校等への出前講座、リカレント講座、公開講座、などのさまざまな事業をおこなっております。

このたび、これらの事業のうちとくに公開講座にかんして、県民のみなさまの興味・関心にこらえられるような内容で実施したいと考え、同封調査票のとおり、公開講座にかんする実態・要望等の調査をすることになりました。

つきましては、おいそがしい時期にたいへん恐縮ではありますが、調査票にご回答のうえ、同封の返信用封筒にて**2015年2月27日(金)**までに**ご投函**いただけますよう、お願いもうしあげます。

調査責任者：高知県立大学地域教育研究センター
センター長 荻沼一男 / 生涯学習部会長 宇野浩三
この調査にたいするお問合せ先：
〒780-8515 高知市永国寺町5-15
TEL 088-873-2152(内線232) / FAX 088-873-3934
Email aeru@cc.u-kochi.ac.jp
担当者 河野淑子

[アンケート票にご記入いただく上でのご注意]

●このアンケート調査票は、生涯学習関係各機関・団体等の長の方宛にお送りいたしております。調査内容をご参照いただいたうえで、公開講座の現況・要望等にかんする各質問項目にご回答いただけるご担当者の方に、このアンケート調査票をおまわしいただければさいわいです。

●「あなたの機関・団体等が開催された公開講座」については、貴機関・団体等が主催・共催・後援しているなど、なんらかのかたちで直接把握しているものについて、ご回答ください。

●各質問項目については、あてはまる項目または番号に○印をつけ、回答欄が指定されているものはその中に記入してください。

●「その他」と「自由記述欄」については、その内容を具体的に記入してください。

1. あなたの機関・団体等の所在地等について

1-1) あなたの機関・団体等の所在市町村について、つぎのあてはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | | |
|----------|----------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 高知市 | 2. 室戸市 | 3. 安芸市 | 4. 南国市 | 5. 土佐市 | 6. 須崎市 |
| 7. 宿毛市 | 8. 土佐清水市 | 9. 四万十市 | 10. 香南市 | 11. 香美市 | 12. 東洋町 |
| 13. 奈半利町 | 14. 田野町 | 15. 安田町 | 16. 北川村 | 17. 馬路村 | 18. 芸西村 |
| 19. 本山町 | 20. 大豊町 | 21. 土佐町 | 22. 大川村 | 23. いの町 | 24. 仁淀川町 |
| 25. 中土佐町 | 26. 佐川町 | 27. 越知町 | 28. 檮原町 | 29. 日高村 | 30. 津野町 |
| 31. 四万十町 | 32. 大月町 | 33. 三原村 | 34. 黒潮町 | | |

1-2) この調査票にご回答いただいている方が所属している部署等について、下の のなかに具体的に記入してください。

あなたが所属している部署等の名称は

2. あなたのあなたの機関・団体等が開催された公開講座について

2-1) 直近の5年間で、あなたの機関・団体等が開催された公開講座のおよその回数について、あてはまるもの1つに○印をつけてください。

(1) 2014(平成26)年度(開催予定も含めてください)

1. 0回	2. 1～4回	3. 5～9回	4. 10～14回	5. 15～19回	6. 20回以上
-------	---------	---------	-----------	-----------	----------

(2) 2013(平成25)年度

1. 0回	2. 1～4回	3. 5～9回	4. 10～14回	5. 15～19回	6. 20回以上
-------	---------	---------	-----------	-----------	----------

(3) 2012(平成24)年度

1. 0回	2. 1～4回	3. 5～9回	4. 10～14回	5. 15～19回	6. 20回以上
-------	---------	---------	-----------	-----------	----------

(4) 2011(平成23)年度

1. 0回	2. 1～4回	3. 5～9回	4. 10～14回	5. 15～19回	6. 20回以上
-------	---------	---------	-----------	-----------	----------

(5) 2010(平成22)年度

1. 0回	2. 1～4回	3. 5～9回	4. 10～14回	5. 15～19回	6. 20回以上
-------	---------	---------	-----------	-----------	----------

2-2) おおむねこの5年以内に、あなたの機関・団体等が開催された公開講座のテーマについて、あてはまるものすべてに○印をつけてください。「その他」の場合には、○印をつけるとともに、()内にその具体的な内容をご記入ください。また、それぞれの公開講座の内容について、下の「自由記述欄」にできるだけ具体的に記入してください。「自由記述欄」の記載内容について、すでに整理された文書等がある場合には、該当文書のコピーなどを添付していただいてもかまいません。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 趣味を深める(音楽・絵画・書道・陶芸・料理・園芸・舞踊、など)2. 教養を高める(文学・歴史・思想・宗教・考古学、など)3. 語学を学ぶ(英語・韓国語・中国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語、など)4. 社会・時事問題を理解する(社会問題・環境問題・エネルギー問題・経済問題・国際関係、など)5. 健康管理の最新知識などを学ぶ(健康・栄養・医療、など)6. 生活の課題を理解する(消費者問題・年金・介護・保険、など)7. 育児・教育問題を理解する(心理・食育・人権・青少年教育・虐待・家庭内暴力、など)8. IT技術などについて学ぶ(パソコン・インターネット・ICT、など)9. スポーツ・レクリエーション活動や実技について学ぶ(指導法・競技技術・フィットネス・ゴルフ、など)10. 地域活動・社会活動について理解する(地域学・地域づくり・ボランティア活動・福祉活動、など)11. 職業上の知識・技能や資格取得(研究動向・高度技術・科学情報・簿記・色彩検定、など)12. 農業等についての知識・技術(食品安全・農薬・実践的農業技術、など)13. その他(具体的に：) |
|--|

上で○印をつけた公開講座について、その内容をできるだけ具体的に記入してください。

[自由記述欄]

3. 県民の方が関心をもっている公開講座のテーマについて

3-1) あなたの機関・団体等が開催する公開講座にふだん参加している県民の方が関心をもっていると
思われる公開講座のテーマについて、あてはまるものすべてに○印をつけてください。回答が「そ
他」の場合には、○印をつけるとともに、()内にその具体的な内容をご記入ください。また、
それぞれの公開講座の内容について、下の「自由記述欄」できるだけ具体的に記入してください。

1. 趣味を深める(音楽・絵画・書道・陶芸・料理・園芸・舞踊、など)
2. 教養を高める(文学・歴史・思想・宗教・考古学、など)
3. 語学を学ぶ(英語・韓国語・中国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語、など)
4. 社会・時事問題を理解する(社会問題・環境問題・エネルギー問題・経済問題・国際関係、など)
5. 健康管理の最新知識などを学ぶ(健康・栄養・医療、など)
6. 生活の課題を理解する(消費者問題・年金・介護・保険、など)
7. 育児・教育問題を理解する(心理・食育・人権・青少年教育・虐待・家庭内暴力、など)
8. IT技術などについて学ぶ(パソコン・インターネット・ICT、など)
9. スポーツ・レクリエーション活動や実技について学ぶ(指導法・競技技術・フィットネス・ゴルフ、など)
10. 地域活動・社会活動について理解する(地域学・地域づくり・ボランティア活動・福祉活動、など)
11. 職業上の知識・技能や資格取得(研究動向・高度技術・科学情報・簿記・色彩検定、など)
12. 農業等についての知識・技術(食品安全・農薬・実践的農業技術、など)
13. その他(具体的に:)

上で○印をつけた公開講座について、その内容をできるだけ具体的に記入してください。

[自由記述欄]

3-2) 上の「3-1)」で○印をつけた公開講座のテーマのうち、高知県立大学との連携(共催)や、高知県立
大学による公開講座の実施を要望するものについて、つぎのあてはまるものすべてに○印をつけ
てください。回答が「その他」の場合には、○印をつけるとともに、()内にその具体的な内容
をご記入ください。また、要望する高知県立大学との連携の仕方や実施したい公開講座の内容な
どについて、下の「自由記述欄」にできるだけ具体的に記入してください。

なお高知県立大学には、文化学部・看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部・大学院(看護学研
究科・人間生活学研究科・健康生活科学研究科)・地域教育研究センター・健康長寿センター・附
属図書館などがあり、さまざまな機能をはたすことができると考えております。

1. 趣味を深める(音楽・絵画・書道・陶芸・料理・園芸・舞踊、など)
2. 教養を高める(文学・歴史・思想・宗教・考古学、など)
3. 語学を学ぶ(英語・韓国語・中国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語、など)
4. 社会・時事問題を理解する(社会問題・環境問題・エネルギー問題・経済問題・国際関係、など)
5. 健康管理の最新知識などを学ぶ(健康・栄養・医療、など)
6. 生活の課題を理解する(消費者問題・年金・介護・保険、など)
7. 育児・教育問題を理解する(心理・食育・人権・青少年教育・虐待・家庭内暴力、など)
8. IT技術などについて学ぶ(パソコン・インターネット・ICT、など)
9. スポーツ・レクリエーション活動や実技について学ぶ(指導法・競技技術・フィットネス・ゴルフ、など)
10. 地域活動・社会活動について理解する(地域学・地域づくり・ボランティア活動・福祉活動、など)
11. 職業上の知識・技能や資格取得(研究動向・高度技術・科学情報・簿記・色彩検定、など)
12. 農業等についての知識・技術(食品安全・農薬・実践的農業技術、など)
13. その他(具体的に:)

上で○印をつけた公開講座について、その内容をできるだけ具体的に記入してください。

[自由記述欄]

3-3) 高知県立大学との連携(共催)や、高知県立大学による公開講座の実施を要望するものについて、その講師や開催方法・開催場所などにかんして具体的な要望などがありましたら、下の「自由記述欄」に記入してください。

[自由記述欄]

○講師について(具体名・専門分野など)：

○開催方法・開催場所などについて：

4. 高知県立大学への生涯学習にかんする要望・期待などについて

すでにご回答いただいたこと以外で、生涯学習に関連して、高知県立大学へのご要望・ご意見・お考えなどがありましたら、下の「自由記述欄」にできるだけ具体的に記入してください。

5. もしさしつかえなければ、この調査票に関連した内容について具体的な話をお伺いしたい場合の、ご担当者の方の、お名前(ふりがな)・電話番号・Fax番号・メールアドレスをご記入ください。ご記入いただいた個人情報などは、この調査に関するこちらからのお問合せ以外の目的で使用することは一切ありません。

(1) お名前(ふりがな)

(2) 電話番号

 — —

(3) Fax番号

 — —

(4) メールアドレス

ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました

高知県立大学 公開講座要望等調査 2014年度調査報告書

発行日 2015年04月30日
発行者 高知県立大学
発行人 高知県立大学
地域教育研究センター長
荻沼一男(～2014年度)
清原泰治(2015年度～)
地域教育研究センター生涯学習部会長
宇野浩三
編集 生涯学習部会
宇野浩三
芋生裕信(～2014年度)
ジョエル・ヨース(2015年度～)
森下利子
山村靖彦(副部会長・～2014年度)
福間隆康(副部会長・2015年度～)
廣内智子(代理：和田安彦)
一色健司(～2014年度)
野辺陽子(2015年度～)
清原泰治(オブザーバー・2014年度)
事務局 地域連携課
川崎 伸(～2014年度)
山崎水紀夫(2015年度～)
河野淑子
